

東日本大震災復興支援

生活支援相談員ニュースレター～vol. 12～

平成28年1月発行

【発行】

岩手県社会福祉協議会 地域福祉企画部 コミュニティ振興グループ

岩手県盛岡市三本柳8-1-3 ふれあいランド岩手内 TEL:019-601-7032 FAX:019-637-7592

釜石市で災害公営住宅の自治会設立に向け、プロジェクトチームが支援

釜石市では、平成28年4月から平成30年2月までに同市東部地区に14の災害公営住宅が完成します。市は、地域づくり推進課が中心となり、「東部地区復興住宅自治会設立支援プロジェクトチーム」を編成し、28年4月から入居者が自治会を設立する取組を支援しています。

プロジェクトチームは、市の関係各課、市社協、岩手県建築住宅センター、釜援隊協議会、NPO等支援団体等で編成されています。

大只越復興住宅1号棟で内覧会・部屋決め抽選会等が開かれ、住民が初顔合わせ

平成28年7月2日（土）、大只越復興住宅1号棟で内覧会・部屋決め抽選会・入居者説明会及び交流会が開催され、入居する全世帯が参加しました。

入居者にはひとり暮らしの方や高齢夫婦世帯の方もいましたが、交流会で同じ階の方と顔合わせすることでお互いに気にかけるようになる等、入居者同士の見守りにもつながっています。

また、市社協の生活支援相談員は、初顔合わせとなる交流会で「入居後、落ち着いた頃に訪問に伺いますね」と声掛けし、スムーズな訪問にもつながっています。

当日の流れは以下のとおりです。

< 内覧会 >

県建築住宅センターが居室を案内し、設備等を説明しました。

< 部屋決め抽選会 >

内覧会受付時に予備抽選（本抽選の順番決め）し、その番号順に本抽選を行い、本抽選で引いた番号順に希望の部屋を選びました。

< 入居者交流会（第1部）>

階ごとのグループに分かれ、ご近所となる方々で自己紹介しました。各グループの交流には、市社協生活支援相談員、釜援隊、NPO 法人力タス釜石、釜石支援センター望が協力しました。

< 入居者説明会 >

- ・ 県建築住宅センターが入居に係る提出書類等を説明しました。
- ・ 市が仮設退去・引越し補助金及び訪問見守り活動を説明しました。その中で、生活支援相談員を紹介しました。
- ・ 周辺地域の自治会長が挨拶及び町内の特徴を紹介しました。

< 入居者交流会（第2部）>

階ごとのグループで意見交換を行い、班長やゴミ置き場の清掃当番を決めました。なお、班長は各階1名ずつ輪番制で、自治会活動のリーダーではないことを市が説明しました。



只越復興住宅3号棟で住民同士が交流～2回目の顔合わせ～

平成28年7月16日（土）、只越復興住宅3号棟で第2回住民交流会が開催され、15世帯19名が参加しました。只越復興住宅3号棟は平成28年4月16日に部屋決め抽選会・第1回顔合わせ交流会が開催され、今回は、生活が少し落ち着いた入居後2～3か月が経過した時期での開催となりました。

交流会は、住民に希望する日程を調査した上で開催日を決定したこと、市が案内チラシをポスティングした後に生活支援相談員が訪問してお知らせしたことにより、9割以上の世帯が参加しました。

交流会では、階ごとにグループとなり、自己紹介（趣味・特技・やってみたいこと等）を行った後、入居して良かったこと、困っていること等について話し合いました。各グループには市社協の生活支援相談員や地域コミュニティ支援職員も参加しました。



～交流会で挙げられた内容～

○ 良かったこと

- ・ 入居してほっとした、落ち着ける

○ 困っていること

- ・ 棚が高い位置にあり使いにくい
- ・ 水道の水がでにくい、排水口の臭いが気になる

○ その他

- ・ ゴミの捨て方のルールを決めた方が良い
- ・ エレベーター前のスペースにテーブルやイスがあれば顔合わせの場になるのではないか
- ・ 男性も集まりやすいイベント（例えば将棋やアルコール等）があればよい
- ・ 集会所で食事会をやりたい

★個人情報の提供に関する同意書を用い、スムーズな引継ぎが行われました★

参加者の中に、内陸に避難していた高齢夫婦がいました。5月31日に本会が開催した被災者支援沿岸・内陸連絡会議で検討した「個人情報提供に関する同意書」を内陸市町村社協が作成し、本人同意を得た上で釜石市社協につないだケースです。これにより、生活支援相談員の訪問がスムーズに行われ、交流会にも参加しました。

★プロジェクトチームの今後の支援★

入居後交流会で挙げられた困りごとや課題については、約1か月半後に開催する交流会で市が回答することになっています。また、各交流会を通じて、発言力がある人等、自治組織の立ち上げ候補者を探すことになります。

その後、自治会設立に向けた準備委員会を立ち上げるための集会を呼びかけ、自治会設立準備委員を選出の上、準備委員会を立ち上げることにしています。数回準備委員会を開催した後、自治会設立に向けた総会を開催するという一連の流れとなります。

プロジェクトチームでは、自治会設立までの一連の流れを、今回「入居後交流会」が開催された只越復興住宅3号棟と同様、平成30年2月までに完成する14の復興住宅において、順次支援していくことにしています。